

伊能嘉矩 いのうり 民俗學者、臺灣研究家。慶應二年陸奥國遠野生れ、大正十四年九月二十日歿（一八七一年一五）。字梅陰。號蕉鹿叟。明治十八年上京、一松學舎に學ぶと一年程で岩手縣師範學校に轉じ、二十一年まで在學、再上京して新聞記者となる。二十八年陸奥省雇員の肩書で渡臺。臺灣總督府民政局に勤務し、同地の歴史、風俗を調査。二十八年歸省後、大著『臺灣文化志』を完成した斯界の先驅者。

他の『支那百笑』(撰評、昭和五年五月、二十日東北評論社・東京支社)等。

